

保護者各位

「自己評価のご報告」

立春を過ぎても、まだまだ厳しい冷え込みの日々が続いていますが、お子さん達は太陽のように明るい笑顔で過ごしています。また、今年度も残りわずかとなりました。お子さん達との一日一日をますます大切に過ごしていきます。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「社員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただきます、ここにご報告申し上げます。

1. 保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」アルタベビー南柏園

回答率：73%

No	質問項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	81%	19%	0%
2	当社社員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	100%	0%	0%
3	当社社員の言葉遣いや態度、服装等が適切だと感じますか	100%	0%	0%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	100%	0%	0%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	94%	6%	0%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの当社社員の対応は信頼できますか	100%	0%	0%
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	94%	6%	0%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、当社社員はきちんと対応してくれていると思いますか	94%	6%	0%
9	当園に満足されていますか	100%	0%	0%

項目1について

・8割の方のご理解をいただいておりますが、2割の方に届いていないという現状がわかりました。昨年度同様の結果となってしまう、保護者の皆様をご覧いただけるよう、玄関に

掲示をし届くようにしましたが、現状が変わらないままとなってしまいました。保育理念や保育目標は当園が目指す保育の軸、そして保育の要でもあります。保護者の皆様が保育理念と保育目標に親しみを持ち、理解していただけるよう、工夫してまいります。

項目 2 について

・こちらの項目については「はい」とお応えいただき、ありがとうございました。これからもお子さんの気持ちを大切にしながら、お子さん、そして保護者の方々に満足していただける保育を提供していきます。

項目 3 について

・こちらの項目も「はい」とお応えいただき、ありがとうございました。この結果に満足することなく、これからも言葉遣いやお子さん、保護者の皆様に対する接し方、服装を徹底してまいります。よろしく願いいたします。

項目 4 について

・こちらの項目についても「はい」とお応えいただき、ありがとうございました。これからも園内の清潔や整理整頓を心掛け、お子さん達が過ごしやすい環境を整えていきます。

項目 5 について

・「どちらともいえない」とお応えになった方が全体の 6%いらっしゃいました。感染症対策については、新型コロナウイルスを始め、様々な病気の感染症予防のため、保護者の皆様も気を付けてお過ごしになさっていると思います。今年度は 12 月と 1 月にインフルエンザ A、溶連菌感染症が流行してしまい、保護者の皆様にご心配をお掛けし、大変申し訳ございませんでした。感染症が流行した際は、室内や玩具消毒を徹底するとともに、手洗いや室内の温度、湿度の管理や見直しを行い、引き続き感染症予防に努めてまいります。

また、安全面に関しましては、職員全員で怪我や事故を周知し、同じ事が起こらないように徹底してまいります。

項目 6 について

・「はい」とお応えいただき、ありがとうございました。そして、お子さんの体調が変化した際に、早めのお迎えのご協力、そしてご家庭でも体調の変化等がないか、しっかりと

ご様子を見て頂き、ありがとうございます。今後も、保護者の皆様にご心配をおかけしないような対応をしていけるよう、努めてまいります。また、お声をおかけした場合は、ご理解とご協力をお願いいたします。

項目7について

・「どちらともいえない」とお応えになった方が全体の6%いらっしゃいました。お子さんの園での食事の様子や状態を保護者の皆様にお伝えし、お子さん一人ひとりに合った食事とおやつを提供ができるように努めてまいります。また、楽しい雰囲気の中で食べる事によって、お子さんが喜んで食べ、保護者の皆様に「おいしかったよ」と伝えられるような給食の工夫をしてまいります。

項目8について

・「どちらともいえない」とお応えになった方が全体の6%いらっしゃいました。今後は、保護者の皆様のご意見やご相談内容にしっかりと耳を傾け、ご満足していただけるように努めてまいります。何かありましたら、お気軽にお声をお掛け下さい。よろしくお願いたします。

項目9について

・「はい」とお応えいただき、沢山のお気持ちをありがとうございました。アルタベビー南柏園は保育空間も、どこのクラスにいても園全体を見渡せる環境となっています。職員は担当クラスだけではなく、全園児の先生であることを心掛け、日々保育にあたっています。

今後もお子さん一人ひとりの事を第一に考え、保護者の皆様が安心してお子さんを預けることができ、「この保育園に預けてよかった」「この先生に出会えてよかった」と思っただけけるよう、努めてまいります。

2. 社員自己評価に関して

・常勤職員に実施した自己評価のまとめです。今年度は3項目について、各自が一年を振り返り、自己評価を行いました。一年一年をそれぞれが振り返り、今後も互いに刺激を受け合い、そして、協力をし合いながら保育を行ってまいります。

当社姿勢目標の順守に関して

- ・職員が気持ちよく働けるよう、挨拶や感謝の気持ちを必ず伝えることができた。
- ・どんな些細なことも、報・連・相を心掛け、園全体に伝えるように心掛けた。
- ・園児について気付いたことがあった場合はすぐに担任に伝えるようにした。
- ・働きやすい環境になるよう、コミュニケーションを積極的にとるようにした。
- ・提出書類の提出は期限に余裕を持って提出することができた。
- ・連絡事項は直接言葉で伝えると共に、コドモンの園内連絡を利用して、正確に伝えることができた。
- ・報・連・相の徹底を意識することができた。また、話を聞くときはメモを取り、忘れないよう工夫し、小さなことでも報告し、園内連絡を活用して、伝達事項をまとめることができた。
- ・服装や身だしなみを整え、言葉遣いや挨拶をしっかり行うようにした。
- ・保育室内を常に清潔を保つようにした。また、物の出しっぱなしなどに注意し、使用したら正しい位置に戻し、次に使う人が使用しやすいように行った。

コドモンを用いた保育計画に関して

- ・一つのアプリで様々な項目を一度に見ることができて、使いやすかった。
- ・指導案(月案など)を立てる時は、参考文例を見ることができた為、園児の発達状況と照らし合わせながら、文章を考えることができて良かった。
- ・月案を立てる際に、年間カリキュラムのねらいが同時に見られる為、年間計画に沿った月計画が立てやすかった。
- ・IT化によって便利になった。また、文章例もあり、保育計画が立てやすかった。
- ・日誌や週案を簡単に見直すことができ、次の案を計画しやすかった。

保育の成果、次年度に向けた目標に関して

- ・月に一度、振り返りをする中で、自分が出来ている部分とこれから改善すべき部分が分かり良かった。
- ・今年度の4月に入社し、慣れないこともたくさんあり、分からないこともたくさんあったが、その都度、積極的に質問をし、一日の保育での改善点などを振り返り、次に活かすことができた。また、一人ひとりと向き合う時間を大切にし、一人ひとりに合った声掛けや援助を工夫することもできた。次年度は全体にも更に目を向けて、保育をしていきたい。その為にも、他の先生方の保育や動きをよく見て、先のことにも目を向けていけるようにしていく。

- ・子ども達のできるようになったこと、成長に合わせた活動を多く取り入れ、楽しむ姿や達成感を味わう姿が見る事ができたので良かった。次年度は今年度の園児の様子や反省を活かし、より質の良い活動や保育を行えるよう、試行錯誤をしていきたい。

3. 園としての自己評価に関して

当社（全園共通）の保育理念に関して

- ・日々の丁寧な関わりにより、保育園に行くことを楽しみにしていることを伝えてくれ、明るく前向きに過ごすことができていると感じた。
- ・保育理念の中にある「自分らしく元気な姿で」という文に対し、個々の個性を認め、その子らしくいられるように丁寧で優しい言葉掛けや、安心して過ごすことができる環境を全体で意識して作ることができた。
- ・SDG s の理解として、お散歩の時に自然に触れる事を意識して行うことができた。

当園の保育目標に関して

・南柏園では、食育・体育（+睡眠教育）・知育・徳育・SDG s の5項目の保育目標を設定し、今年度も保育を行ってまいりました。

【食事に関して】

・4月に入園した園児の中では、保育園の食事や味付けに慣れず、ほとんどのおかずが食べられない様子の園児が数名いた。また、在園児の中でも新しいメニューに抵抗を感じ、食事量が減ってしまう園児が数名いた。しかし、量の調節や大きさの調整をしながら提供する中で、食べられる物が多くなり、残飯が減り、おかわりを楽しみに食事をする様子も見られるようになった。

【体育（+睡眠教育）に関して】

- ・0歳児クラスは、それぞれの発達に応じて、身体を動かせるように配慮した。トンネルくぐりやマット運動が苦手な園児が多かった為、お散歩に歩いて行くことや、室内で音楽に合わせて身体を動かす、ずり這いやハイハイでの遊びを行えるように考えた。
- ・1.2歳児クラスでは、散歩先で遊具を使って遊ぶ経験やたくさん走る、歩くことを楽しむ経験を行えた。室内では、トンネルくぐりや風船、フラフープを使って身体を動かすなどで心地良い疲労感を持てるような活動を行えた。

- ・昨年度は、2歳児クラスの園児が室内遊びの日はなかなか睡眠に入れないことがあったが今年度はどのクラスも心地良く睡眠に入れることができていた。

【知育に関して】

- ・各クラス、手先を使った遊びを今年度も取り入れることができた。また、0歳児クラスは日々の遊びや保育士とのコミュニケーションを大切にし、絵本の読み聞かせや話しかける事を多く行うことができた。しかし、指先を使った遊びを取り入れる回数が少なかった。
- ・1歳児クラスでは、お散歩に行くこと・絵本の読み聞かせ・手先を使う遊び（ボール落とし・シール貼り等）遊びの中で経験することができた。
- ・2歳児クラスは、朝の会で日付を答えるなどの中で、数字にふれていくことができた。また、当番活動では自分でやりたい意欲を大切にし、できたという達成感を感じることを大切にし、意欲や自信につなげることができた。

【徳育に関して】

- ・ごっこ遊びや保育士が仲立ちをしてお友達と関わることで、玩具の貸し借りや他児ができないことを手伝ってあげる事など、他児を思いやる心を持つことできた。
- ・子ども達一人ひとりと深く関わり、気持ちを受け止めることで、素直に想いや欲求を言葉で表現することができている。
- ・お友達を大切にできるように、日々思いやりのある言葉掛けを行い、一人ひとりの思いに耳を傾けて、寄り添う心を大切に取り組むことができた。

最後に全体に目標にしていた部分は様々な取り組みを通して行っていったと思うが、不十分な点があった。

- ・0歳児クラス 知育目標（手先を器用にする遊びをする）
 - ・1歳児クラス 知育目標（見たり触れたりする経験を通して、物の性質を理解する。）
- この2点においての達成度が低かったと感じたため、来年度は強化をしていけるように取り組みたい。